

2024 東海シンポジウム会告

主題＝ポリマー分子組織化学

分子が組織化することにより、それぞれの分子の機能の加算的な組み合わせを超えて、非線形的、創発的な新たな機能を生み出すことが期待されてきました。最近、ポリマーの分子組織を巧みに操ることで、分子間の無限の組み合わせを制御し、ポリマー分子組織機能を自在に創出する先導的な研究が報告されています。今回のシンポジウムは、「ポリマー分子組織化学」と題し、本分野の第一線で活躍されている先生方に講演をお願いしました。非常に充実した内容となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

主催 高分子学会東海支部

協賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部 日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部 プラスチック成形加工学会日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部 日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時 2025年1月23日(木)、1月24日(金)

会場 ウィンクあいち(<https://www.winc-aichi.jp>)

1日目 1月23日(木)

<10:00-12:10>

はじめに (名古屋大)田中健太郎

- 1) ナノ空間物質とポリマーとの分子組織化学(東京大)植村 卓史
- 2) 構造タンパク質の階層構造化 ―クモ糸の分子設計と自己組織化を例に―(京都大)沼田 圭司

<13:25-15:25>

- 3) 無機ナノシートを利用した自己組織化の化学(信州大)佐野 航季
- 4) ナノアロイによる機能発現と新材料創出(東レ(株))小林 定之

<15:40-16:40>

- 5) 超分子重合で創る未踏メゾスケール構造(千葉大)矢貝 史樹

2日目 1月24日(金)

<10:00-12:00>

- 6) 合成高分子の絶対立体構造制御に基づく機能化(名古屋大)井改 知幸

- 7) 室温にガラス転移温度を有する特異な α -オレフィン共重合体の開発とその用途展開(三井化学(株))植草 貴行

<13:25-15:25>

- 8) 分子認識の特異性により制御された超分子ポリマーの構造と機能の化学(広島大)灰野 岳晴

- 9) ハイブリッド型分子設計から創出する刺激応答性分子組織材料(岐阜大)池田 将

<15:40-16:40>

- 10) 量子の時代における分子集積材料の開発(東京大)楊井 伸浩

参加要領

1) 定員 100名

2) 参加費 ① 企業 10,000円 ② 大学・官公庁 5,000円 ③ 学生 無料

3) 申込方法 以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/g28cAwwGmijaKjEd6>

参加費は銀行振込

【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】

にてお支払いください。

※参加登録のキャンセルは、1月16日(木)までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。納入していただきました参加費を返金させていただきます。

なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

4) 申込締切 1月16日(木)

5) 振込期限 1月16日(木)

お問い合わせ先

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル
(公財)中部科学技術センター内 高分子学会東海支部
東海シンポジウム係宛

TEL: 052-231-3070 FAX:052-204-1469

E-mail : koubunshi☆cstc.or.jp

(☆を@にかえてご利用ください)